

傳統革新展

AKAN × UPOPOY

AKANKO AINU KOTAN / AINU CONSULN PRESENTS

2025.

09.12 金

10.05 日

阿寒湖アイヌコタン
Tradition and Innovation Exhibition



支店 山形県村山法人アイヌ民族文化財団 / 一般社団法人阿寒アイヌコンセンシ
協力 アイヌ協会 / 阿寒アイヌ文化協会の協力 / 阿寒アイヌ民族文化財団 / 一般社団法人阿寒アイヌ協会
企画 へいじん(阿寒アイヌ文化財団) / 印刷 阿寒アイヌ文化財団の印刷部にて印刷 電話 0156-62-2314

編集 久保田 久美子 (東京大学文学部) 発行 日本経済新聞社 (東京) 〒100-8302 東京都千代田区千代田 1-1-1 電話 03-6456-3734

イベント情報

阿寒アイヌ工芸協同組合×ウポポイ

ユーカラ紙芝居「ミソサザイの神さまがかたったおはなし」

日時 9月13日(土) 11:00～ 会場 ポロチセ

山本多助エカシが残したユーカラの紙芝居を、阿寒アイヌ民族文化保存会会長の渡辺かよさんとウポポイスタッフの木村和沙の2人による語りと、ムックリ、トンコリの演奏とともにお届けします。

阿寒アイヌコンサル×FM NORTH WAVE

「トークセッション」

日時 9月13日(土) 11:30～ 会場 ポロチセ **northwave 302.5**

ユーカラ紙芝居終了後、阿寒アイヌコンサル理事長を務める廣野洋さんと、ラジオ局「FM NORTH WAVE」GOGO RADIO COMPANYのDJ田村次郎さん(HAMBURGER BOYS)を迎えてのトークセッションを実施。関係者はもちろん、一般の方にもコンサルが手がける仕事術をトーク。

床州生×鯉屋エリカ

阿寒アイヌ「手仕事インスタレーション」

日時 9月13日(土) 13:00～ 会場 体験学習館別館3

阿寒湖アイヌコタンの工芸家の床州生さんによる「木彫り」と、同じく伝承者であり工芸家の鯉屋エリカさんによる「刺繍」。阿寒の実際の仕事場を3号館に再現し、フチ・エカシ展の一部のアートとして、それぞれの実演展示を実施。

阿寒アイヌコンサル×ケラピリカ

先着順・限定100食無料

「ボネオアウラーメン試食会」

日時 9月14日(日) 11:30～ 会場 ヤイハノツカラ チセ(体験学習館)

昨年、大好評だった廣野洋さん提供のオアウ(汁もの)の振舞い。今回は、「伝統ト革新展」流にオアウをリニューアル。「ボネオアウラーメン」として、限定100食無料で提供します。さらに、札幌のアイヌ料理人気店「ケラピリカ」との共同制作で、より美味しさを追求した一品に仕上げます。



阿寒アイヌコンサル
「伝統ト革新展」official IG

最新情報は
こちらから！



声から紐解く「阿寒湖のフチ・エカシ展」 会場 体験学習館別館3

今から65年前、1959年。北海道阿寒湖に新しいコタン(集落)ができました。その土地は、湖からは少し距離があり、ぬかるんだ斜面のため建築には不向きな場所。電気も水道もガスもない。そんな場所で、阿寒湖のアイヌはどう生き抜き、文化を伝承してきたのか。今回の展示では、当時のコタンの発展に寄与した4人のフチ(尊敬される女性)・エカシ(尊敬される長老)をピックアップし、そのご家族の声を通して紐解いていきます。

同会場にて、阿寒湖アイヌアーティストによる
アイヌコンサル認証事業展示・販売いたします。

アイヌ文化を知的財産として正しく、広く普及させるため、さまざまな事業を阿寒湖で展開している廣野洋を代表とした一般社団法人「阿寒アイヌコンサル」。第1回目に引き続き、阿寒湖のアイヌアーティストが、現代の商品とのデザインをどのように結びつけ、その文化を発信しているのかを紐解くため、実際のアイテムを期間限定で展示・販売いたします。



ウポポイ

NATIONAL AINU MUSEUM and PARK

民族共生象徴空間

〒059-0902 北海道白老郡白老町若草町2丁目3

開館時間 9:00-18:00 ※9/13日～15日、9月20日、21日、23日の期間は9:00-20:00

開園日 月曜日(祝日の場合は翌平日に開園) ※9月16日(月・振替)及び9月22日(月)は開園。

9月24日(水)は閉園となります。

山本多助フチ

千家盛雄エカシ

佐々木三ツチ

伝統ト革新展

2025.

09.12 金

10.05 日

守り、壊し、はじめることを恐れない。だから、阿寒湖のアイヌは逞しい。
北海道の東、釧路地方。1959年、和人である前田一步園財団園主、前田光子と、無償で使用貸借契約を結び、誕生したコタン(集落)がある。それが、2025年の今も絶えることなく続く「阿寒湖アイヌコタン」。道東地方を中心に、他地域からのアイヌと和人が根を下ろし、ともにつくりあげた稀有なその地域は、それぞれの伝統文化を持ち寄り、ミックスさせ、独自の文化へと進化させていきました。
第4回目となる本展では、文献や映像では残されていない脈々と受け継がれる阿寒湖アイヌコタンのその歴史を「伝統」、現在進行形で生み出されている新しいカルチャーを「革新」と称し、ふたつのテーマをもって紐解いていきます。

阿寒アイヌコンサル



オフィシャル
ホームページ

秋田今主エカシ

